

## 超音波血管 VOL (3次元表示)機能を新発売 [2003.08.29] 超音波診断装置

—透析患者と医療現場に朗報—

アロカ株式会社は、汎用タイプの超音波診断装置のオプションとして、新たに血管の超音波画像の三次元的表示を可能とした超音波血管 VOL 機能を発売開始します。

このオプション機能は 2003 年 9 月からリリース予定で、6 月 20 日～22 日に大阪で開催された第 48 回日本透析医学会で発表し、大好評を博しました。

血管 VOL 機能は約 2 年前に埼玉医科大学総合医療センター 第 4 内科 小川医師、同 生理検査室（当時）来住野（きしの）技師の提案を受け、アロカの技術部門で開発が進められてきました。商品開発にあたり、埼玉医科大学総合医療センター（第 4 内科 御手洗教授）、ならびに東京女子医科大学（泌尿器科 東間教授、血液浄化部門 秋葉教授）の協力を得ており、これらの施設では透析医療において、シャントを含む血管の維持管理と合併症対策は、主として触診と血管造影に頼っていましたが、超音波血管 VOL は、わずか 10 秒前後の自動スキャンによりリアルタイムで血管走行が観察できるため、医療現場のみならず患者負担軽減へのメリットも大きい。

今後、透析患者のルーチン検査に活用される予定です。

2003 年度の売上目標は 300 台以上で、売上額は 12 億円～15 億円を見込んでおり、今後 3 年間で全国の透析施設約 3,500 箇所のうち、2,000 施設以上への納入をめざしています。